

鉄道事業の旅客運賃の改定申請について

伊豆箱根鉄道株式会社（本社：静岡県三島市、代表取締役社長：伍堂 文康）は、本日 10 月 15 日付で国土交通省中部運輸局に鉄道事業の旅客運賃上限変更に関する認可申請を提出いたしました。なお、運賃改定の実施は駿豆線が 2027 年春、大雄山線は 2028 年春を予定しております。

申請理由および内容は下記のとおりです。

記

1. 申請理由

当社の鉄道事業は、静岡県三島市と伊豆市を結ぶ駿豆線（営業キロ 19.8 km）と、神奈川県小田原市と南足柄市を結ぶ大雄山線（営業キロ 9.6 km）の 2 路線があり、駿豆線は国内でも有数の観光地として知られる伊豆、大雄山線は首都圏エリアで事業を運営しております。

これらのエリアにおいて、地域人口の減少による就学・就労人口の減少が慢性的に続いており、1990 年代前半をピークに輸送人員は減少傾向が続いております。ここに新型コロナウイルスによる輸送人員の激減という大きな打撃を受けたことなどにより、2023 年 4 月に駿豆線・2024 年 3 月に大雄山線の運賃改定を実施しました。この改定は消費税の税率変更に伴う運賃改定を除いて 1995 年 10 月以来のものでありました。

しかしながら、コロナ禍からの輸送人員の回復は前回改定時に想定していた水準までは戻らずに頭打ちの状況となっており、今後はアフターコロナの新たな生活様式に基づいた現在の水準から人口動態に合わせて推移する厳しい状況に置かれていくものと想定されます。

そうした状況下においても、当社はこれまで以上に沿線自治体や企業との連携を強化し、当社と他業種が持つ強みを融合することで、既存サービスの枠を超えた魅力のある商品の提供に努め収益の向上を図ってまいりました。

また、輸送の安全確保のために車両・信号保安設備・線路設備・電路設備などの維持更新や鉄道駅のバリアフリー化の推進、駅務機器などの設置および更新、駅舎改修や、大雄山線においては IC カードのソフト改修・駿豆線においてはクレジットカードのタッチ決済導入などにより利便性の向上に取り組んでまいりました。

しかし、今後も輸送の安全や旅客サービスの向上を推進していくためには、既存設備の更新費用や維持管理費に加え、運行の効率化に向けた多額の投資を行っていく必要があり、インフレに伴い各種部材調達費用等が高騰する一方、人財確保のための処遇改善も不可欠となっている現況下においてこれらの資金需要を満たす収益を上げ続けることが困難な状況となっております。

当社としても運行体系の変革やデジタル技術活用による駅業務・保守業務の効率化等により経費の削減や生産性向上を図り経営努力を重ねているところではございますが、上記の理由から、鉄道輸送の安全安心の確保と利便性の向上、鉄道事業の経営健全化を図るため、このたび旅客運賃改定の申請に至りました。

ご利用の皆さまには、何卒ご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2. 申請内容

(1) 申請日

2026 年 10 月 15 日

(2) 実施予定日 駿豆線 2027 年 春

大雄山線 2028 年 春

※ 駿豆線・大雄山線における実施予定日の違いにつきましては、前回改定を踏襲し過年度における各線での収支実績の違い等を考慮したものです。

なお、上限認可申請においては駿豆線・大雄山線共に、同日付で申請しております。

(3) 改定内容

① 【現行・申請運賃新旧比較表】

営業 キロ程	普通旅客運賃 (定期外)		通勤定期旅客運賃 (大人 1 ケ月)		通学定期旅客運賃 (大人 1 ケ月)
	現行運賃	申請 上限運賃	現行運賃	申請 上限運賃	現行運賃 (据え置き)
キロ	円	円	円	円	円
1	160	180	5,090	6,200	2,980
2	160	180	5,090	6,200	2,980
3	160	180	5,090	6,200	2,980
4	170	200	6,450	7,800	3,630
5	190	220	7,520	9,100	4,400
6	210	250	8,600	10,450	5,010
7	240	290	9,800	11,850	5,580
8	270	320	11,110	13,440	6,390
9	310	370	12,260	14,830	6,850
10	310	370	12,490	15,110	7,230
11	360	430	14,740	17,830	8,320
12	360	430	14,840	17,950	8,850
13	400	480	16,400	19,840	9,320
14	400	480	16,480	19,940	9,610
15	440	530	18,050	21,840	10,520
16	440	530	18,150	21,960	10,640
17	490	590	20,140	24,360	11,930
18	490	590	20,140	24,360	11,930
19	550	650	22,400	27,100	13,030
20	550	650	22,400	27,100	13,030

※ 通学定期券については家計への負担を配慮し、据え置きといたします。

② 【改定率】

定期外	定期			合計
	通勤	通学	計	
17.8%	21.2%	0.0%	15.9%	17.0%

※ 駿豆線・大雄山線共に 2027 年 4 月 1 日に改定した場合の 3 年間合計の改定率です。

3. 鉄道部門収支の実績および推定

(千円)

	2025 年度	2027 年度～2029 年度（3 年間合計）	
	実 績	現 行	申 請
収入	2,696,565	7,976,165	9,275,597
支出	3,019,834	10,484,995	10,484,995
差引損益	▲323,269	▲2,508,830	▲1,209,397
収支率	89.3%	76.1%	88.5%

※ 収入原価算定要領の計算方式にて算出

4. 運賃収入内訳

(千円)

	2025 年度	2027 年度～2029 年度（3 年間合計）	
	実 績	現 行	申 請
定期外	1,496,740	4,460,370	5,252,972
定期	1,061,682	3,187,384	3,694,214
合計	2,558,412	7,647,754	8,947,186

5. 需要見通し

(千人)

	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
	実 績	推 定	推 定	推 定	推 定
定期外	6,359	6,345	6,348	6,317	6,303
定期	9,154	9,139	9,124	9,109	9,094
合計	15,513	15,484	15,472	15,426	15,397
前年比		99.81%	99.92%	99.70%	99.81%

6. 設備投資の実績と今後の計画

(1) 設備投資の実績と計画

(百万円)

	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
	(実績)	(推定)	(推定)	(推定)	(推定)
安全対策	287	348	300	306	311
サービス改善・その他	158	437	125	98	93
合 計	445	785	425	404	404

(2) 内容

○ 輸送の安全対策

三島駅・小田原駅をはじめとする駅のホーム改修を行うほか、列車の安全安定運行に不可欠な各種設備の改修を継続して行ってまいります。また、点字タイルの更新等によりバリアフリーをさらに推進します。

7. これまでの経営合理化の状況および今後の取り組み

これまで、駿豆線でのワンマン化や駅業務の見直しによる係員時間帯配置を実施し、運行の安全を確保しつつ要員の効率化を図り収支の改善に努めてまいりました。今後においても、要員の効率化や更なる経費削減を図るとともに、老朽化している保安設備の更新や高齢社会などの時代に合わせたサービスの向上に進めてまいります。

8. お客さまサービス向上施策

(1) 小児運賃の低廉・均一化

駿豆線・大雄山線それぞれの運賃改定に合わせて、小児普通運賃と小児通学定期運賃の低廉・均一化を実施する予定です。詳細については下記リリース資料をご参照ください。

<https://www.izuhakone.co.jp/sunzudaiyu/sunzudaiyu-news/p010994.html>

(2) タッチ決済によるキャッシュレス交通乗車サービスの導入

駿豆線では 2024 年 12 月 18 日より、タッチ決済対応のカード（クレジットカード、デビット、プリペイド）や、カードが設定されたスマートフォン等による鉄道乗車サービスを開始しています。クレジットカードやデビットカード等を専用のポール型端末にタッチすることで、乗車券の購入が不要となり、スムーズに電車をご利用いただけます。

9. お問い合わせ先

(1) 伊豆箱根鉄道株式会社 鉄道部運輸課 TEL055-977-1207

受付時間（平日 9：30～16：30）

(2) 伊豆箱根鉄道ホームページ <https://www.izuhakone.co.jp/>

以 上